

たくさんの皆さんにご参加をいただき、ありがとうございました。 令和元年度茨城県PTA連絡協議会女性ネットワーク委員会研修会

令和元年度茨城県PTA連絡協議会女性ネットワーク委員会研修会に、727名の皆様にご参加をいただきましたこと、心より御礼申し上げます。

当日は「いじめの問題」を中心に、佐藤 秀行 日本PTA全国協議会会長からの講演、そして、4名のパネリストの皆さんと「子どもたちをいじめに向かわせないために」をテーマに、パネルディスカッションを行いました。

なお、ご協力いただきましたアンケートでは、共感、心温まる体験のお話、改善についてのご指摘、疑問点等、たくさんのご意見をいただきました。感謝申し上げます。

今後も、いただきましたご意見を参考にさせていただきます、私ども茨城県PTA連絡協議会が目指す「つながり、学び、協力し合うPTA」に近づこう努力してまいりたいと考えております。

紙面の都合上、いただきましたご意見の全てを掲載することは難しいのですが、一部を抜粋し掲載させていただきましたので、見づらい紙面となってしまいましたが、ご一読いただければ幸いです。

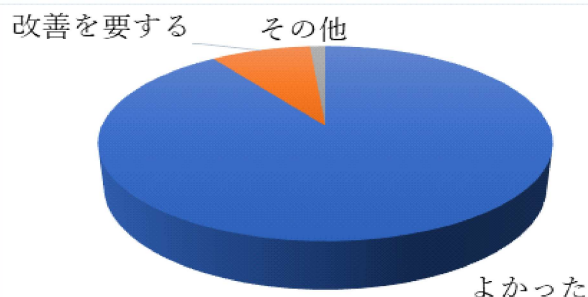
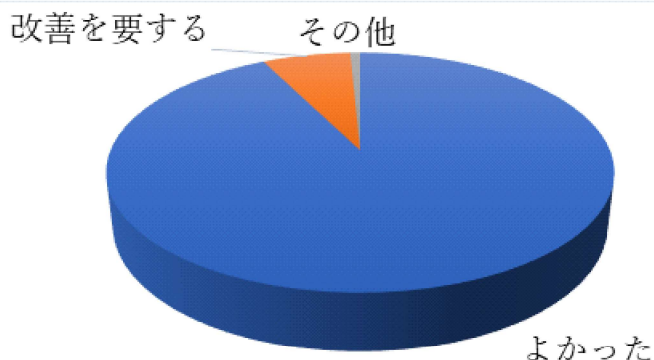


【講演について】

- ・ いじめが多様化する時代でも、大切なことは「子どもの変化にいち早く気付くこと」なのだと教えられました。子どもが大きくなるにつれ話してくれなくなることを当たり前とせず、コミュニケーションをとる努力が必要だと思いました。
- ・ 「優しくして厳しい親」。このバランスはとても難しいですが、自分もそんな親でありたいと思います。
- ・ いじめの問題については、各家庭の在り方が大事だと思う。我が子をきちんと見たいと思いました。
- ・ 「未来に向かって自分に何が出来るかを考えていかなくてはいけない。」という言葉がとても響きました。全ての保護者が前向きに考えてくれるような活動ができればいいなと思います。
- ・ いじめ対策ハンドブック、きちんと読んで参考にしたと思います。コミュニケーションの大切さを改めて感じる事ができました。また、保護者同士、先生方との情報共有やコミュニケーションも大切にしたいです。
- ・ 「寛容の気持ち」、本当に大切だと思います。みんなで子どもを育てる社会になるといいなと思っています。
- ・ 飾らない話し方がとても聞きやすく引き込まれました。子どもの様子をよく見る事、普段から話しやすい場を作ること、先生方ともコミュニケーションをとるべきことがよくわかりました。
- ・ 話の内容とスクリーンが合っていないと分かりづらかった。
- ・ いじめに直面した教員や大学教授などの有識者の方の話を聞けるとよい。

【パネルディスカッションについて】

- ・ 親子で普段何気ない会話をしておくことが、いじめ等が起きてしまった「いざ」というときに効いてくると、改めて感じさせられた。
- ・ 我が家にとってタイムリーな話題でした。子どもとの関わり方を改めて考えさせられました。もっと子どもの話に耳を傾けて、子どもの心に寄り添っていきたいと思いました。
- ・ 子どもたちは、うるさいくらいに話をしてく





るので 時々適当にあしらってしまいましたが、そんな状況がありがたい、うれしいことなんだと感じました。もっと大切に聞いてあげようと思いました。

- ・ 親子のコミュニケーションの大切さはわかっていても、なかなか時間がなく不足がちです。子どもたちともっと家族の時間を作るように時間の作り方の工夫をしたいと思いました。
- ・ 我が家は母一人、子一人で本部役員を両立できるか不安でしたが、役員をすることで先生とのコミュニケーションをとる機会が増えたり、学校での子どものようなすれを見ることができています。子どもとのコミュニケーションを大切にし、いじめられている子を助けら

れるような子どもに成長できる手助けをしたいです。

- ・ 学校だけに任せず、親もしっかり子どもと向き合うことが大事だと感じました。
- ・ 娘から保健室で泣いていた下級生の子の話をたくさん聞いてあげたという話を聞いたばかりでした。「とても良いことをしたね。」と褒めてあげました。〈中略〉いじめられている子を守るのに、年齢は関係ないと思いました。
- ・ 会社から携帯を持たされ、連絡もたくさん入るので「ノーメディアデー」は難しいかもしれませんが、「ノーメディアタイム」は挑戦してみようと思いました。
- ・ 主人が忙しく、子どもと私のみで過ごすことが多く責任も重くのしかかるのですが、母として愛しむ気持ちを忘れず、厳しさも忘れず接していこうと思いました。
- ・ 自身は人見知りで人付き合いは苦手ですが、初めて女ネット委員になり研修会に参加し、子どもたちのためにも、先生や周りの保護者とも交流をしていこうと思いました。子どもとのコミュニケーションは毎日していますが、これからも続けていきます。
- ・ 子どもたちが、小さな気になることをいちいちでも話せる場所があるとよいということは、間違いないと改めて感じた。
- ・ 子どもとのコミュニケーションを毎日しっかりとろうと思いました。自分もスマホ片手に会話したり、色々おざなりにしているなあ・・・と気づくことができました。ノーメディアデーも挑戦できたらと思いました。
- ・ 中学生の娘は話をあまり積極的にしてきません。自然な形で会話がたくさんできるように、時間を工夫しながら過ごしていきたいと思いました。子どもの心の成長に少しでも支えになれる親になりたいと感じました。
- ・ ママ抱っここの話を聞いて、自分の親から「愛情貯蓄をたくさんしてあげてね。」と言われたことを思い出しました。
- ・ 学校の先生方にも参加していただき、共有できるとよいと思いました。
- ・ SNSについて、もう少し詳しい話があるとよいと思った。
- ・ もう少し具体的な事例、解決方法を出した方が共感を得られるのではないのでしょうか。
- ・ いじめをどのように解決するのか、結局わからなかった。
- ・ もっと参加者が関わればよかったと思った。私たちももっと話したいし、前後左右の人と話したかった。

【その他】

- ・ 家族全員で家事を分担すれば、子どももやりがいを持って良いと思います。
- ・ 初めての参加、今まで女ネットはおろかPTAの役割、活動を理解していませんでした。今日参加して勉強になりました。実は、嫌々委員をやっていました。
- ・ 佐藤さんのPTA観に非常に安心いたしました。任意加入の件、丁寧に伝えることは大切で、当然のことと考えていますし、単P会長としても、そのようにしております。PTAを「ボランティア」と定義づけることで、委員を引き受けてくださる保護者の積極性は増しました。「ボランティア」なら参加しません、という声は、今のところ出ておりません。やれるときに、やれる人たちで、やれる範囲で、P=ぱっと T=楽しく A=明るく を目指したいところです。
- ・ 女ネットは今の時代に合っていないのではないのでしょうか。子育てや教育は、女性のみでなく全ての人が関わることが必要だと思う。
- ・ 子連れで参加できる環境を整えてもらいたい。
- ・ 駐車場の案内等を詳しくお願いしたい。

今回は、「子どもたちの気持ちをいじめに向かわせないためには、まずコミュニケーションを大切に」というお話がたくさん出てまいりました。「コミュニケーション」というと、何かそれなりに、お子さんと会話をしないといけないと思いますが、毎朝の「おはよう」、「行ってらっしゃい」「行ってきます」、そして「ただいま」「おやすみ」、これだけでも立派なコミュニケーションではないのでしょうか。続けていけば、この数秒のやりとりが、アンケートのご意見にありましたように「効いてくる」と思います。まずは、小さなことでも続けていくのはどうでしょうか。

改めまして、遠いところからご参加いただきまして、ありがとうございました。

※ 研修会の折、黒のコードレスイヤホンの落とし物がありました。事務局で預かりしております。

